

科学技術シンポジウム

システム構築による 重要課題の解決に向けて

2012年 3月2日(金)
13:00~17:15

参加費
無料
事前申込制

会場 スクワール麹町

東京都千代田区麹町6-6

JR中央線「四ッ谷」駅前
地下鉄丸ノ内線・南北線「四ッ谷」駅から徒歩 2分
地下鉄・有楽町線「麹町」駅より徒歩6分

主催 独立行政法人 科学技術振興機構 研究開発戦略センター

後援 社団法人 日本工学アカデミー
特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合

定員 250名



お問い合わせ 科学技術シンポジウム「システム構築による重要課題の解決に向けて」事務局
Tel:03-3560-3565 Fax:03-3560-3566 E-mail:jst_2012@semiconportal.com

お申し込み ▼ 裏面のFAX専用申込用紙、もしくは下記ウェブサイトよりお申し込み下さい。
<http://crds.jst.go.jp/sympo/sys2012/> FAX:03-3560-3566

※先着順で受付いたしますので、定員を超えた場合は参加をご遠慮いただくことがあります。

システム構築による 重要課題の解決に向けて

開催趣旨

大規模で複雑なシステムに囲まれて成り立つ現代は、まさに「システムの時代」であり、社会が期待する重要課題の解決は、システム構築によって達成されることが多い。昨年3月に東日本を襲った震災はこのことをさらに鮮明に示したと言えよう。では、重要課題の解決という社会の期待に応えるには、どのようなシステム構築の進め方が必要なのだろうか。また、システム構築を支えるシステム科学技術の推進方策として、何が必要なのだろうか。

独立行政法人科学技術振興機構（JST）研究開発戦略センター（CRDS）では、このような問いかけのもと、システム科学技術の推進方策に関する戦略提言「システム構築による重要課題の解決に向けて」を平成22年度に取りまとめた。

当該シンポジウムでは、この戦略提言の内容および今年度一年間の取組を紹介するとともに、システム科学技術に対する期待を有識者に語っていただく。さらに、パネルディスカッションを通じて、現代社会におけるシステム構築の意義とこれに必要な方策の重要性についての認識を深める。

プログラム

- 13:00～13:05** 開会の辞
科学技術振興機構 理事長 中村 道治
- 13:05～13:15** 主催者挨拶
JST/CRDS センター長 吉川 弘之
- 13:15～13:35** 来賓挨拶
総合科学技術会議 議員 相澤 益男 氏
文部科学省（調整中）
- 13:35～14:05** 基調講演 「システム構築による重要課題の解決」
JST/CRDS 上席フェロー 木村 英紀
- 14:05～15:25** 「システム科学技術の役割とその可能性」（各20分）
地球環境産業技術研究機構（RITE）理事・研究所長 山地 憲治 氏
情報・システム研究機構 機構長 北川 源四郎 氏
JST/CRDS 上席フェロー 田中 一宜
日本銀行 調査統計局 審議役 櫻庭 千尋 氏
- 15:25～15:40** 休憩
- 15:40～17:10** パネルディスカッション
司会／JST社会技術研究開発センター センター長 有本 建男
「システム科学へ何を期待するか」
株式会社日立製作所 名誉顧問 桑原 洋 氏
トヨタ自動車株式会社 理事 大畠 明 氏
防災科学技術研究所 社会防災システム研究領域長 藤原 広行 氏
「システム科学の可能性を探る」
東京工業大学 教授 藤田 政之 氏
JST/CRDS フェロー 安岡 善文
- 17:10～17:15** 閉会の辞
科学技術振興機構 理事 眞峯 隆義

※講演タイトル・内容等は、都合により一部変更になる場合があります。最新のプログラムはWEBにて掲載いたします。

FAX申し込み用紙

FAX：03-3560-3566

フリガナ			
ご氏名			
ご所属	ご所属先： ご役職：		
ご住所	〒		
電話番号		メールアドレス	

※複数にてお申し込みの場合は、コピーしてご利用下さい。申込用紙は、切り取らずに、そのまま送信してください。

※申込みの際に頂いた個人情報については、個人情報保護法および関連するその他の法令・規範を遵守し、適切な保護と厳正な管理に努めます。